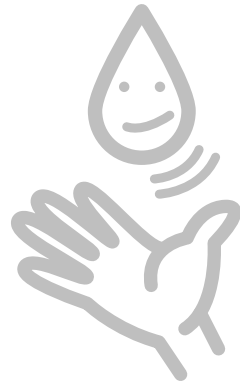


## 第6章 推進方策・フォローアップ



# 1 プランの推進

「なごや水の環(わ)復活プラン」の理念である「豊かな水の環(わ)がささえる『環境首都なごや』」を実現するためには、行政だけでなく市民やNPO、事業者が互いに協力、連携して取り組みを展開していくことが必要となります。

プランの推進にあたっては、社会情勢の変化などにも柔軟に対応できるように、計画・実行、分析を継続的に行い、必要に応じてプランの見直しを行いつつ、以下の体制で取り組みます。

## 「豊かな水の環(わ)がささえる『環境首都なごや』」の実現

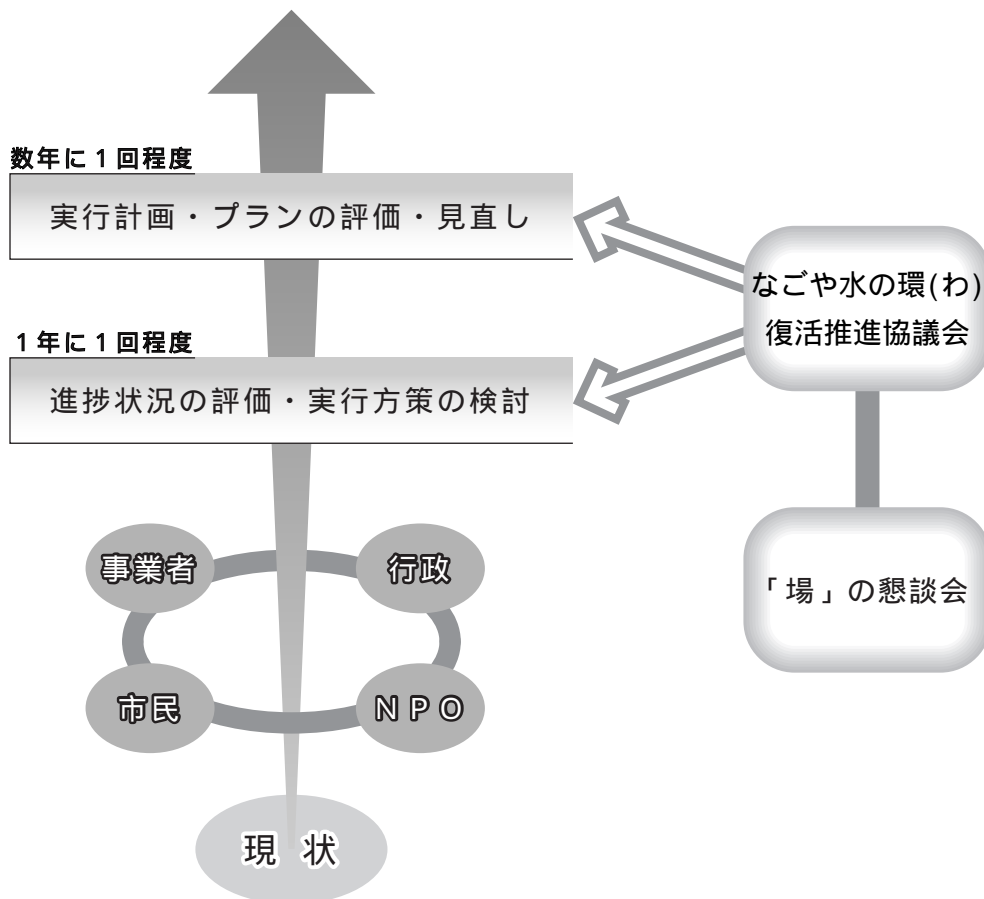


図 6 - 1 水の環(わ)復活プラン推進の流れ

## 2 プランの推進体制

豊かな水の環（わ）がささえる「環境首都なごや」を実現するため、以下の体制によりプランの推進を図ります。

### (1) なごや水の環（わ）復活推進協議会

学識経験者、市民代表及び「なごや水の環（わ）復活プラン」の推進に関連する行政の各部局から構成される組織とし、プランを効果的・効率的に推進するための実行計画を検討するとともに、水の環復活プランの進捗状況について議論し、必要に応じてプランの見直しを行います。

### (2) 「場」の懇談会

水の環は地面からの雨水の浸透、湧水としての地下水の湧き出し、豊かな川の流れ、緑地や水辺での蒸発散など、様々な場から成り立ち、大きな水のつながりを形作っています。

これらの場を健全に保ち、さらには広げていくため、湧水地やため池などの場ごとの懇談会を作ります。

場の懇談会では、関係するNPOや市民、事業者及び行政が、問題点・課題を議論し、主体的に対策に取り組んでいきます。

第1章

なごや  
水の環（わ）  
復活プラン  
とは

第2章

名古屋  
市域  
の現況

第3章

なごやの  
水循環の  
課題

第4章

水の環（わ）  
復活プラン  
の理念と  
めざす姿

第5章

水の環（わ）  
復活に  
向けた  
取り組み

第6章

推進方策  
・  
フォロー  
アップ

資料編

---

雨 うっとうしい、"やだなあ"と思われはじめてどれくらいたつのでしょうか。

私たちは、"雨にも負けず"快適で過ごしやすい街づくりに努めてきました。

例えば、降った雨はとどこおらず、すみやかに排除できるように。

おかげで、長靴が下駄箱のすみに追いやられ、  
雨に濡れた土の感触だって、私たちはもう忘れがちになりました。

しかし、一方で水辺で遊ぶ子供の姿は少なくなり、

川のごれに不満を感じる人も多く、

そして、なによりも、夏暑く、  
季節を楽しむ余裕がなくなってきました。

快適な街には豊かな"水の環"が必要です。

"水の環"は心を癒し、

いつかの災害の時

この水の恵みによって、たくさんの命が救われるかもしれません。

私たちが忘れてしまった"水の環"をこの街で復活させましょう。

そして、街の快適さとは何か、今"もういちど"考え、

世界に誇れる"環境首都なごや"を実現しましょう。

